

NEWSLETTER

比較経済体制学会

No.70 December 2023

Contents

- ・ 比較経済体制学会 2024 年度第 64 回全国大会開催計画および自由論題報告募集のご案内
- ・ 学会機関誌編集委員会からのお知らせ
- ・ EACES Szeged conference のお知らせ
- ・ 日本経済学会連合補助申請に関するお知らせ
- ・ 幹事会報告
- ・ 事務局だより

比較経済体制学会 2024 年度第 64 回全国大会開催計画

および自由論題報告募集のご案内

比較経済体制学会 2024 年度全国大会は、2024 年 6 月 29 日（土）、6 月 30 日（日）の二日間にわたって、大阪経済大学大隅キャンパス（大阪市東淀川区）で開催される予定です。本大会の共通論題と報告者が決定しましたので、お知らせします。

共通論題：「一帯一路」はユーラシアをどう変えたのか？

報告者：荒井悦代（日本貿易振興機構アジア経済研究所）、梶谷懐（神戸大学）、服部倫卓（北海道大学）、福山秀夫（日本海事センター）（五十音順、敬称略）

討論者：福本智之（大阪経済大学）、松澤祐介（西武文理大学）（五十音順、敬称略）

2013 年に中国の習近平国家主席はカザフスタンで「シルクロード経済ベルト」、インドネシアで「21 世紀海上シルクロード」の建設を提唱し、ここに中国の「一帯一路」建設が始まった。その後、中国はアフリカやラテンアメリカやオセアニアの国々とも「一帯一路の共同建設」に関する覚書を交わすようになったため、交通インフラ建設によってユーラシア大陸の東西の交流を促進するという当初の構想とはだいぶ変質した感もある。とはいえ、このたびの共通論題ではユーラシア大陸の政治経済と人・モノの流れに焦点を当て、一帯一路構想の提唱から 10 年余りを経てどのような変化がもたらされたのかをさまざまな角度から議論したい。すなわち、①中国の一帯一路構想の変遷と反省、②中国による経済協力のプレゼンスが大きく、しばしば「債務の罠」の典型例として取り沙汰されるスリランカの現状、③ウクライナ戦争以来、中国への依存を深めるロシアの状況、そして④ユーラシアを横断する物流の変化に関して、それぞれの分野の専門家から報告をしていただく。会員各位には奮ってご参加いただきたい。

自由論題の報告者を募集します。報告を希望する会員は、以下の事項を下記連絡先にお知らせ下さい。
応募締切は 2024 年 3 月 31 日（日）午後 5 時です。

- (1) 氏名・所属・連絡先
- (2) 報告論題
- (3) 報告内容の骨子（400～600 字程度）

自由論題応募先：丸川知雄（プログラム委員会）

E-mail: marukawa [at] iss.u-tokyo.ac.jp ([at] を@に変更してください)

なお、パネルセッションをご希望の場合は、プログラム委員会に事前にご相談ください。

大会プログラム委員長：丸川知雄（東京大学）

大会プログラム委員：田畑伸一郎（北海道大学）、服部倫卓（北海道大学）、
藤井大輔（大阪経済大学）

大会組織委員長：黒坂真（大阪経済大学）

大会組織委員：岡崎拓（羽衣国際大学）、小林拓磨（松山大学）、藤井大輔（大阪経済大学）

（大会プログラム委員会）

比較経済体制学会 2024 年度若手会員旅費助成の募集について

比較経済体制学会第 59 回全国大会会員総会で承認された「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」
< <https://www.jacesweb.com/award/#toc2> >に基づき、2024 年度若手会員旅費助成を募集しています。
希望者は学会事務局に事前連絡の上、所定の申請用紙を 2024 年 3 月末までに提出してください。

（事務局）

学会機関誌編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフェリー
一制投稿誌として、年 2 回発行しています。

学会幹事会の委嘱により、第 60 巻及び第 61 巻は、武田友加編集委員長（九州大学）、樋渡雅人副編集
委員長（北海道大学）、小林拓磨編集委員（松山大学）、鈴木拓編集委員（帝京大学）、藤井大輔編集委員
（大阪経済大学）、柳学洙編集委員（北九州市立大学）の 6 名が、編集を担当しております。

学会機関誌『比較経済研究』第 61 巻 1 号（24 年 1 月発行予定）では、特集論文 2 本、投稿論文 1 本、
書評 2～3 本を掲載する予定です。ご寄稿いただいた先生方には、ご尽力賜りましたことに心より御礼
申し上げます。

当機関誌では、投稿原稿（論文（400 字×55 枚以内）、研究ノート（400 字×45 枚以内）、書評（400 字
×17 枚以内））を随時募集中です。掲載ご希望の会員は、編集委員会アドレス（jaces.edit@gmail.com）
まで、原稿をご提出下さい。61 巻 2 号（2024 年 6 月刊行予定）の投稿〆切は 2024 年 2 月 15 日、62 巻 1
号（2025 年 1 月刊行予定）の投稿〆切は 2024 年 8 月末を予定しております。なお、機関誌の企画及び査
読の都合上、上記締め切り直近の刊行号に掲載されない場合があります。あらかじめご了承ください。

当学会に連続 2 年度以上在籍している若手研究者（院生会員及び年齢 40 歳以下の正会員）が単独執
筆した機関誌掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応
募資格を持つ会員の皆様は、特に奮ってご投稿ください。

『比較経済研究』は、独立行政法人科学技術振興機構が運営する科学技術情報発信・流通総合システ
ム（J-STAGE）の登録雑誌です。最新号を含む全てのバックナンバーが閲覧可能です。どうぞ御活用くださ
い。電子版トップページのアドレスは、以下の通りです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjce/-char/ja/>

最後に、当機関誌に掲載される書評の対象となる候補著書の情報提供にもご協力いただきますようお願い致します。特に、会員の皆様が新著（書籍）を公刊される際には、候補著書として検討させていただきますので、上記編集委員会アドレスまでご一報いただけますようお願い致します。

（学会機関誌編集委員会）

EACES Szeged conferenceのお知らせ

本学会と提携関係にある EACES（欧州比較経済体制学会）にて、Szeged conference が 2024 年 3 月 23 - 23 日に開催されます。詳細については、EACES ニュースレター、または EACES HP < <https://eaces.eu/event/szeged-conference-22-23-march-2024> > の情報をご確認ください。

（事務局）

日本経済学会連合補助申請に関するお知らせ

日本経済学会連合より、2024 年度補助事業の一環として(1)外国人学者招聘滞日補助、(2)国際会議派遣補助、(3)学会会合費補助の要項が提示されました。それぞれの補助内容の詳細については、日本経済学会連合の WEB サイト < <http://www.ibi-japan.co.jp/gakkairengo/htdocs/info/hojoindex.html> > でご確認ください。

日本経済学会連合の補助は、加盟学会単位での申請です。特に、国際会議派遣補助については 1 学会 1 件の申請となっており、加盟学会代表者の推薦を受けることが条件となっております。また、第一次募集においていずれかの補助を受けた場合、第二次募集には学会として応募することが出来ません。更に、2 年連続して同一学会が同じ項目に関する補助を受けることも出来ません（項目が異なる申請は認められます。つまり、上記の(1)が n 年に採択された上で、n+1 年に(2)が採択されることはあり得ます）。

比較経済体制学会事務局では、上記補助をご希望の方々からの申請を受け付けています。応募ご希望の会員の皆様は、上記の WEB サイトにて申請書をダウンロードし、必要事項と各申請に必要な書類を同封のうえ、事務局までお送りください。事務局受付締切日は、事務処理に要する時間制約を鑑みまして、各募集締切日の 1 ヶ月前とします。詳しくは上記の WEB サイトをご覧ください。

応募者多数の場合は、幹事会において選考のうえ、本学会として推薦する応募を選定します。ただし本学会の推薦が補助決定を約束するものではありません（多くの申請があった際には半分以上が不採択になったことも過去にあります）。また、申請金額がそのまま満額助成されるとは限らず、実際の助成金額は日本経済学会連合の審査によって決定されることにもご留意ください。

（事務局）

幹事会報告

・2023 年 8 月 3 日（木）開催分（持ち回り）

審議事項

1. JCREES の提案について

以下の JCREES の提案に関しては特に異論がありませんでした。

ICCEES（国際中東欧研究学会）の地域大会である、スラブ・ユーラシア研究東アジア大会は、これまで原則として毎年開催されることになっていたが、昨年、中国（上海）でオンライン開催された後、今年以降の開催地や開催時期が決まっていない。それについて、韓国、中国などと協議するため、日本としては、今後は原則として隔年開催ということをご提案しようとするがそれでよいか。ただし、厳密に隔年ということではなく、1 年おきの開催も認めるなど、ある程度フレキシブルな余地を残す。また、ハイブリッド開催を念頭におく。

・9月10日（日）開催分（持ち回り）

審議事項

1. 大会組織委員長の幹事指名について

2024年度に開催予定の第64回比較経済体制学会全国大会の大会組織委員長である黒坂真会員を、比較経済体制学会幹事に指名することになりました。

・9月19日（火）開催分（持ち回り）

審議事項

1. 次期全国大会の開催日程について

2024年度第64回比較経済体制学会全国大会を、2024年6月29日（土）および6月30日（日）に大阪経済大学で開催することに決定しました。

・10月15日（日）開催分（オンライン）

審議事項

1. 役員選挙細則第3条（1）と運営細則第3条第4項について

現行の細則のまま問題ないとの結論に至りました。

2. 役員選挙細則第2条について

郵送による投票の取り扱いをどうするかについては、継続審議となりました。

3. 学会誌の印刷・校正業者との契約について

北大生協印刷情報サービス店の業務縮小に伴い、北大生協の取引先であった有限会社キーワードに直接、学会誌の印刷・校正業務を発注することに決定しました。

4. 運営細則第2条（2）と運営細則第2条（4）について

幹事会の定足数に関しては、選挙で選ばれた幹事総数の3分の2以上の出席を必要とするとなっており、事務局担当幹事（選挙で選ばれなかった場合）と大会組織委員長の幹事は含まれません。他方、幹事会の決定は、出席幹事の過半数でなされることになっており、事務局担当幹事（選挙で選ばれなかった場合）と大会組織委員長の幹事は含まれます。幹事会での議論の結果、定足数に関し、事務局担当幹事（選挙で選ばれなかった場合）と大会組織委員長の幹事を含める形での細則変更を、次回総会で提案することになりました。

5. 来年の大会の共通論題について

共通論題は、「一帯一路」に関連したテーマにすることに決定しました。

（事務局）

.....

事務局だより

早くも次年度の全国大会の準備が幹事および関係会員のご協力の下で始まりました。また、比較経済体制学会のウェブサイトが、新ウェブサイト< <https://www.jacesweb.com/> >に移行しました。ブックマークの変更をお願いいたします。

（事務局 大野成樹・安達祐子）

.....

ニュースレターNO.70 発行

2023年12月29日

比較経済体制学会事務局

会務・会計担当：

079-8501 北海道旭川市永山 3-23-1-9
旭川市立大学経済学部 大野成樹

メンバーシップ・WEB サイト担当：

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学外国語学部 安達祐子

事務局メールアドレス：

adm@jacesecon.sakura.ne.jp